

いろいろな価値観があるから学べること

来年の今日、多くの人は私立高校を受験しています。

『あと1年』なのか、『まだ1年』なのか…。

みんながどんな受け取り方をするかはわかりませんが、時間は平等。

みんなの私立高校入試は365日後です。

中学生活の1年はとても濃い時間だと思います。なぜ『濃い』のか？

それは、『たまたま家が近い』というだけの、いろいろな価値観をもった人の集団で生活しているからです。

これからの人生で、『たまたま』出会い、共に集団生活をする事は少ないでしょう。中学卒業後の人生は、『自分の意思』で進路選択をした人が集まります。だから、なんとなく価値観が近かったり、話が合う人と出合いやすい。でも、中学校は違いますよね。

「あの人の考え方がわからない…。」「あの人が苦手だから…。」

それは仕方ないことです。『たまたま集まった集団』だから。

でも、今だからこそ学ぶことができることも多いと思いませんか？

自分の価値観と全然違う人がいて当然です。

その人たちを「どれだけ知ろうとするのか？」が大切ではないでしょうか。

そして、自分の中で考えます。「あの人はどう思うだろう…？」って。

これって、キャリア学習でみんなに伝えたことに似ていませんか？

最近、よく聞く言葉で気になることがあります。

それは「自分だけじゃないから。」という言葉。例えば…

スカート丈が少し短いけど、「自分だけじゃない…」

名札をつけていないけど、「自分だけじゃない…」

チャイム着席できてないけど「自分だけじゃない…」

『自分だけじゃないから…いいやん！』…本当にそうかな？

小さなルールかもしれないけど、おとなになったら、その小さなルールを守れないことで信頼を失うこともあるんじゃないかな？

中学校のルールは厳しいかもしれない。

でもそれは、いろいろな価値観の人がいるからだと思う。

受け取り方が違うと大きなズレになる。だから、細かくルールが決まっているのではないだろうか？

月曜日はバレンタイン。

みんながルールを守って、いつも通りの1日であることを祈っています。